
僕と彼との対話集

medici

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と彼との対話集

【Zコード】

Z2535Y

【作者名】

medici

【あらすじ】

心に傷を負った僕と、天使な彼とのわざとどうでもいい対話集

プロローグ（前書き）

テスト小説です。

プロローグ

ルビコン川を渡つたころのことは、今ではもう覚えてはいない。あれは夢だったのではないか、そんな風さえ感じたのだつた。どうしてあのとき、僕は彼女を置いていかなかつたのか。無理にでも置いて行くべきだつたのではないか。後悔の一の字は僕の体を蝕んで、動けなくなる。

国に帰つてからは、彼女を失つたショックもあり、部屋に閉じこもりがちになつた。自分でもよくない傾向だとは思うがどうしようもなかつた。今更どうしたところで彼女は帰つてはこない。それは理解できている。しかし、空虚に支配された心は、何事にも響くことなく、ただ日々を過ごすことしかできないでいた。

彼に出会つたのは、そんな生活が5ヶ月も続いたころだつたか。もつと前からそこにいたのかもしれないし、もう少し後に知り合つたのかもしない。どうも詳しくどの時期だつたのか思い出せない。ただ、彼の言葉だけは、いくつも覚えていた。

「この枝豆の、豆をや、こうフルンって出すだろ。その瞬間、この枝豆はなにを考えているんだろうね」

だとか

「他人の語る夢つていいものだよな。俺は人から夢を聞くのが大好きなんだ。いや、茶化してるわけじゃないよガチで」

だとか

「あー、片思いしてえー。全身全霊の片思いしてえー」

だとか

とにかく変わつたやつだつた。

彼は僕になにも聞かなかつたし、僕も彼になにも聞かなかつた。

ただ一つのまにか僕の隣にいた彼と、その距離感のまま、淡く曖昧な関係を続けていたんだと思う。あるいは、僕は彼に甘えていたのかもしれないなかつた。

プロローグ（後書き）

テストテスト

軌道エレベーターと彼

「いつものように彼がやってきて、僕らは好き勝手なおしゃべりをする。彼はいつも自由で、話題も自由。服装や髪型は思いのほかオーソドックスで、なんの奇抜さもなかつたけれど、彼の話はウイットに富んでいて、僕はいちいち癒されるのだった。

「今度できた軌道エレベーターってやつを知っているかい？ 宇宙へと続くエレベーターなんだって話さ。人間ってのは、思いもよらないことを考えるよな、神が知つたらバベルの塔どころじゃないよ。まあもう神にそこまでの力はないだろうけどもね」

「ヤウグは神を信じているのか？」

「まあ、いちおうは信じているかな。いや、信じているからいるのであって、信じていない人にとつては存在しないものなんだよ、神は。曖昧なものさ」

「じゃあ僕にとつては神は存在していないな」

「そうだろうな。君の心には神がない。かといって悪魔がいるわけでもなし、まあ、大多数の人間と同じだよ。宇宙へのハシゴが現実に掛かる時代に神は必要とされていなってことだよ」

「でも、神を信じている人はまだまだたくさんいるだろう？ 今度の軌道エレベーターだって、けつこう熱心に反対した団体がいるそうだし」

「ヤコブの梯子だね。でもまあ神からしても、別に反対してほしいとは思っていないんじゃないかな。神の国が宇宙にあるわけでもないし

「なるほどね」

「話は変わるけど、君はオンセンといつものに入ったことがあるかい？」

「あるよ。学生の『こうはよくバイクで温泉旅行に出かけたものだな』
「あるのか。僕はない。うらやましいな。僕もどうにかして入ってみたいものだ」

「日本に行けば入れるよ。あの国は温泉が本当に好きだからな」

「海を越える方法が見つかったら考えるよ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2535y/>

僕と彼との対話集

2011年11月5日19時54分発行